29 01 02 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月18日（火）

事務事業	検査事務	担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	2913
第２次総合計画 行政分野別 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令個別計画等	地方自治法第２３４条の２、公共工事の品質確保の促進に関する法律、深谷市検査事務規則、深谷市検査実施要領、深谷市工事等成績評定要領、深谷市建設工事中間検査実施要領ほか				
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	地方自治法第２３４条の２第１項の規定に基づき、契約により受ける給付完了の確認をするため、市が契約を締結した工事（修繕）及び委託業務の必要な検査を実施し、検査事務の適正化及び検査行為の徹底を図るものである。また、契約金額５００万円を超過する契約については、完成（完了）検査時に併せて成績評定を行う。
目的 ※何のために	契約に基づく履行の確保を確認する。また、成績評定を実施することにより、請負者へ品質の向上を促す。
対象 ※誰・何を対象に	市が契約締結した工事（修繕）及び委託業務の請負者を対象とする。
手段 ※どのように	契約検査課職員（専任検査員）及び補佐職を中心に配置した兼務職員（指定検査員）により検査を執行する。 なお、１３０万円以下の工事や役務の提供にかかる業務委託等は、主管課長による検査を実施する。
成果 ※何を求めるか	契約に基づく履行成果の有無の確認と証明書の発行及び成果品の品質確保。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	検査事務費	109,830
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 概要書の収受	・
・ 指定検査員体制の運営業務	・
・ 検査	・
・ 成績評定	・
・ 研修	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・検査・成績評定	・検査・成績評定	・検査・成績評定	・検査・成績評定	・検査・成績評定	・検査・成績評定
事業費	予算（現額）	348,000	194,000	194,000	163,000	162,000	116,000
	決算額	225,344	58,645	123,428	109,830	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	225,344	58,645	123,428	109,830	0	116,000
人件費	従事職員数（人）	2.05	2.05	2.05	2.05	2.00	2.00
	人件費相当試算 ※１	15,946,950	15,953,100	16,115,050	16,678,800	16,272,000	16,272,000
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		16,172,294	16,011,745	16,238,478	16,788,630	16,272,000	16,388,000

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	請負金額５００万円を超過する工事検査数	目標値	件							■
			実績値		174.00	224.00	194.00	215.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。							
□	活動指標２	委託金額５００万円を超過する委託検査数	目標値	件							■
			実績値		621.00	660.00	618.00	632.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。							
■	成果指標１	工事成績評定結果平均点	目標値	点							■
			実績値		73.90	73.90	75.50	75.40	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。							
■	成果指標２	委託業務成績評定結果平均点	目標値	点							■
			実績値		73.60	71.20	72.50	75.10	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。							
■	成果指標３	成績評定６５点未満の工事件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		1.00	3.00	1.00	2.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		著しく悪いとされる６５点未満の工事件数を０件とする。							
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 契約金額が５００万円を超える工事の検査については、前年度比２１件の増となった。このことは、全体的な工事発注件数が増となったこと。また、前年度からの繰越工事の検査数が増加したことが検査件数の増の要因となっている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 工事成績評定平均点については、検査数が増加したものの、前年度と同水準となったが、委託業務の成績評定平均点については前年度を大幅に上回った。また、６５点未満の工事については、前年度より１件増となった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	検査係長　　秋山　隆之

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	財務会計システムの移行に伴い、現在使用している検査システムについては廃止となることから、成績評定システムを含めた検査事務手順について新たに構築する必要がある。
達成状況 及び その効果	成績評定システムを含めた検査事務手順について新たに構築し、掲示板等により周知を行った。その結果、新年度以降の検査事務については、大きなトラブル等も無く検査証明書の発行を行えている。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	検査事務	担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	2913

- □ ① 現状のまま継続
- ■ ② 見直して継続 →
- □ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

→
- □ 委託化等の検討
- ■ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

新財務会計システム移行に伴う、新たな検査システムについては、成績評定システムを含め運用を開始し、検査証明書の発行も遅滞なく行えている。今後は検査数も増加することが見込まれることから、検査システムのバージョンアップを行い、更なる利便性の向上を図りながら安定的なシステムの運用を行い、速やかな検査証明書の発行を行う。

評価者	契約検査課長　韮塚　洋明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

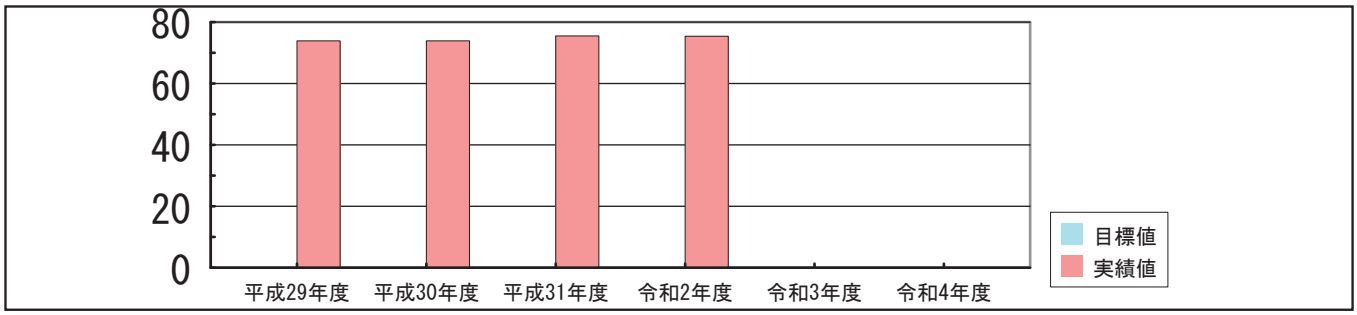
改善・改革案	検査及び成績評定システム利用者の意見等の聞き取り調査を実施し、システムの修正や改良を行い、検査システムのバージョンアップを図る。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

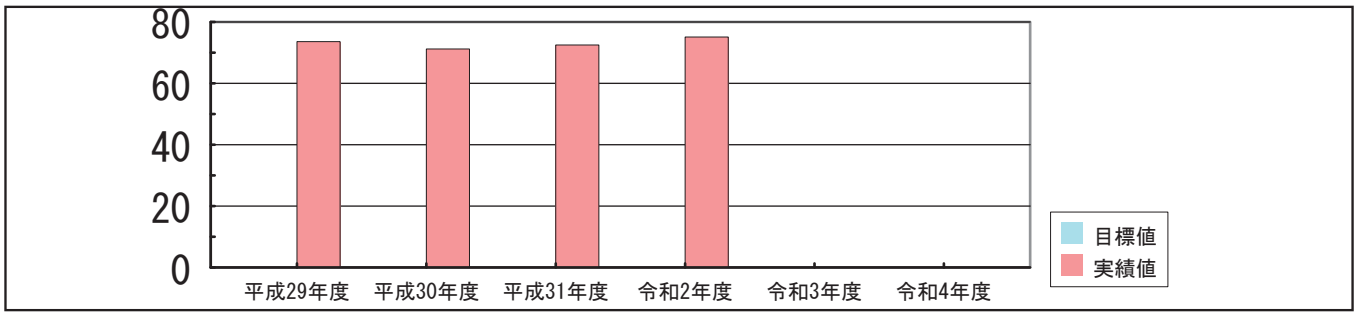
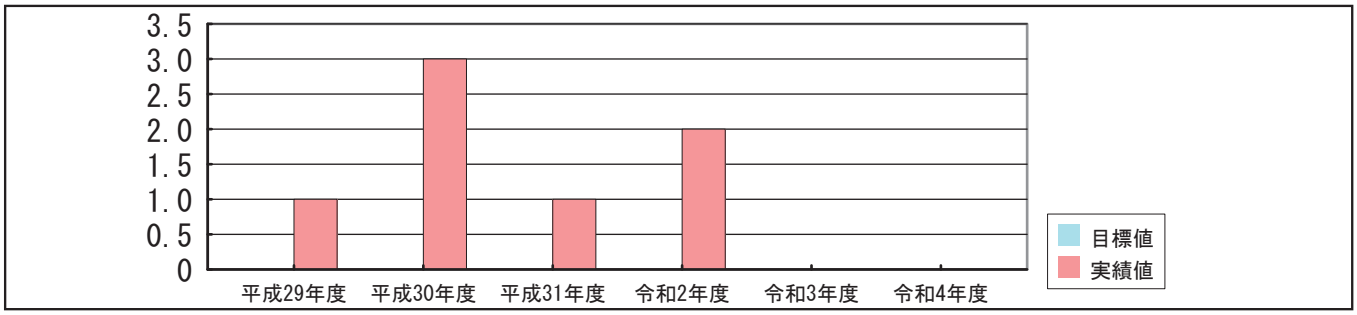
今後の課題	契約額が１３０万円を超え５００万円未満の工事及び工事に係る業務委託については指定検査員による検査を実施している。現状では工事担当者自ら検査員を選定している状況であるが、検査数については一定の指定検査員に偏りがみられている。検査の公平・公正の判定や、請負業者の資質の向上を図るため、指定検査員制度の見直しを実施する必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	工事成績評定結果平均点



区分	成果指標２	指標名	委託業務成績評定結果平均点



区分	成果指標３	指標名	成績評定６５点未満の工事件数